

平成 30 年度 事業内容

1. 平成 30 年 10 月 大垣北高等学校 海外フィールドワーク（ベトナム・カンボジア訪問）助成

文部科学省のスーパーグローバルハイスクール(SGH)である岐阜県立大垣北高等学校は、12/16～22、生徒 25 名がベトナム・カンボジアを訪問し、現地の高校生や大学生とのコミュニケーション実践、海外進出している地元企業見学、アンコール小児病院見学など現地を目で見て、肌で触れることにより課題解決への意欲や実践力を身に付ける活動をされました。当財団は、このような事業に賛同し助成を行いました。

2. 平成 30 年 10 月 大垣市立東中学校吹奏楽部 定期演奏会助成



大垣市立東中学校吹奏楽部第 27 回定期演奏会に対して助成をしました。大垣市民会館大ホールにて行われた演奏会には、生徒 62 名、保護者 100 名、地域の方 700 名が参加され、吹奏楽の音色を楽しみ、地域・生徒の方の交流の場となりました。

3. 平成 30 年 10 月 クナートップチェイ中学校寄贈



カンボジアの国民の生活向上には教育が必要との考えで平成 21 年に始めた小学校建設、そこで学んだ生徒が中学校に行くには 20km の距離があり進学したくても断念しなければならないのが現状でした。そこで平成 30 年度は現地に中学校を建設することにしました。学校建設は 4 月に着工、10 月末に完成し、11 月 3 日～5 日間、岐阜新聞の記者の同行もいただき現地を訪問し、寄贈式を行いました。カンボジアの学校は秋入学となり、同校は 11 月から中学生 1 年生のクラス 30 名でスタートしました。教育省から学校の認可を受けましたが予算が不足、教科書や机、いす、黒板など付属設備が不足しており、引き続き支援を行っていきたいと考えております。

4. 設置井戸稼働状況点検確認

財団が設置した井戸の稼働状況・水質・水量の確認を行ったところ、1基の井戸については組み上げるパイプが折れ可動ができない状況であった。近所の井戸で代替しているということであったため、補修が今すぐに必要という状況ではなかった。

今後老朽化してくる設備の維持管理が課題になってくることがわかった。

